

2013.11.26 |火| 一
2014.1.19 |日|

かわせはすい

巡回先(予定):大阪高島屋、横浜高島屋、山口県立萩美術館・浦上記念館、京都高島屋、日本橋高島屋、川越市立美術館

見どころ

◎ 出品点数

初公開の資料を含む約 300 点を予定しています。

◎ 渡邊木版美術画舗の全面協力

版元協力だからこそ、保存状態の良い作品をご紹介します。原画、試摺、完成作とは色の違う摺など、制作工程の分かる貴重な資料も展示いたします。また関連イベントでは、テレビ東京系列「開運！なんでも鑑定団」でおなじみの、渡邊木版美術画舗社長・渡邊章一郎氏による講演会も行います。

◎ 失われてしまった風景

巴水は日本全国を旅して版画を制作しましたが、題材の多くは名所旧跡よりもむしろありふれた、何気ない風景でした。近代化によって、また災害によって幾多の風景喪失を経験した今日、今ある風景とそこで繰り広げられる暮らしのかけがえのなさを見つめ直すひとつの機会となるのではないのでしょうか。

◎ 所蔵作品展も見ごたえあり

同時開催の所蔵作品展「渡邊版—新版画の精華」では、巴水とともに数々の名作を世に送り出した版元・渡邊庄三郎の仕事を巴水以外の作品でご紹介します。「巴水前史」というべき明治末～大正はじめの作品、巴水が版画に道を定めるきっかけとなった伊東深水《近江八景》などを展示予定。企画展とあわせてご覧いただくことで、より深く巴水芸術をご理解いただけます。

関連企画

■ 記念講演会(事前申込制)

「渡邊版画店と川瀬巴水」

講師：渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗社長)

11月30日(土)14:00より 11階講堂にて

定員150名(往復はがきによる事前申込制)／聴講無料

■ 記念トークショー(事前申込制)

「父・巴水を語る」

講師：川瀬文子(川瀬巴水長女)

鈴木昇(ギャラリーヌーベル代表)

1月11日(土)14:00より 11階講堂にて

定員150名(往復はがきによる事前申込制)／聴講無料

【申込方法】

往復はがきに郵便番号、住所、電話番号、氏名、参加希望の企画名、参加人数(2名までお申込可)を明記の上、下記までお申し込みください。

(1通で複数のイベントにはお申込できません。応募多数の場合は抽選となります。)

＊「渡邊版画店と川瀬巴水」は**11月20日(水)**、「父・巴水を語る」は**12月20日(金)必着**

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

千葉市美術館 イベント係

■ 版画の摺り実演

「川瀬巴水《荒川の月(赤羽)》を摺る」

講師：渡辺英次(渡邊木版美術画舗摺師)

解説：渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗社長)

12月22日(日)14:00～16:00 11階講堂にて／観覧無料

＊会場の出入りは自由です(混雑状況によって入場を制限する場合がございます)

■ 新春の獅子舞

1月4日(土)の開館時には、会場入口で獅子舞(出演：登渡神社登戸神楽囃子連)がお迎えます。

■ 市民美術講座

「川瀬巴水の写生帖から」

12月7日(土)14:00より

「新版画の精華—渡邊庄三郎の仕事」

1月13日(月・祝)14:00より

各回ともに

講師：西山純子(当館学芸員)

11階講堂にて／先着150名様／聴講無料

■ ギャラリートーク

担当学芸員による：11月27日(水)14:00より

ボランティアスタッフによる：会期中の毎週水曜日
(11月27日を除く)

＊水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。
＊会場の混雑状況により中止となる場合がございます。

千葉市美術館 プレスリリース

同時開催

「渡邊版 ― 新版画の精華」

企画展「生誕 130 年 川瀬巴水展」にあわせて巴水以外の作家による渡邊版を展示、大正初期に錦絵の復興を果たした版元・渡邊庄三郎の仕事を検証します。

※「生誕130年 川瀬巴水展」をご観覧の方は無料



伊東深水《対鏡》
大正 5(1916) 年 千葉市美術館蔵

記者レクチャー

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。展示作品をご覧いただき、作品の見どころなどを担当学芸員よりご説明します。

11月26日(火) 14:00より(1時間程度) 10階会議室にて(その後、8・7階展示室へご案内いたします)

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

次回展予告

「江戸の面影 浮世絵は何を描いてきたのか」

2014年1月25日(土)～3月2日(日)

長く太平の世が続いた江戸時代。その中心都市江戸には、独特の文化や美意識が形成されました。浮世絵はその代表的な産物ですが、そこに表された風俗や生活について詳細に検討した総合的な美術展はこれまで行われていません。江戸の生活風俗に関わる質問が来館者からも多いことから、そのニーズにも応えながら、江戸という都市らしい特徴のある文化や生活風俗のあり方を浮世絵の名品を通して検証します。



歌川豊広《橋上の二美人》
寛政～享和期 (1789～1804) 年
板橋区立美術館蔵

交通案内

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8 / Tel. 043-221-2311 (代) / FAX. 043-221-2316

<http://www.ccma-net.jp>

◎ JR 千葉駅東口より

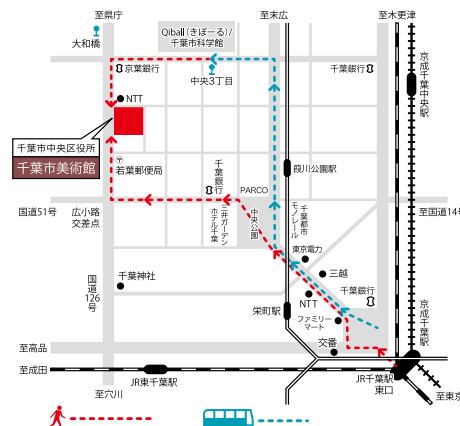
- ・徒歩約15分
- ・バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
- ・千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚 IC 下車国道51号を千葉市街方面へ約 3km、広小路交差点近く

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください



展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。

川瀬巴水展 ― 郷愁の日本風景



1. 《尾州半田新川端／東海道風景選集》
昭和10(1935)年
渡邊木版美術画舗蔵



2. 《房州鴨川》
昭和9(1934)年
渡邊木版美術画舗蔵



3. 《新大橋／東京二十景》
大正15(1926)年
渡邊木版美術画舗蔵



4. 《鯉のぼり (香川県豊浜)》
昭和23(1948)年
渡邊木版美術画舗蔵



5. 《雪の増上寺》
大正11(1922)年
渡邊木版美術画舗蔵



6. 《上州法師温泉》
昭和8(1933)年
渡邊木版美術画舗蔵



7. 《暮れ行く古川堤》
大正8(1919)年
渡邊木版美術画舗蔵

「川瀬巴水展 ― 郷愁の日本風景」
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当 行
FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ （おおよそで結構です 例：5cm 四方、など） ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 《尾州半田新川端／東海道風景選集》 昭和10(1935)年 渡邊木版美術画舗蔵
2. 《房州鴨川》 昭和 9(1934)年 渡邊木版美術画舗蔵
3. 《新大橋／東京二十景》 大正15(1926)年 渡邊木版美術画舗蔵
4. 《鯉のぼ利（香川県豊浜）》 昭和23(1948)年 渡邊木版美術画舗蔵
5. 《雪の増上寺》 大正11(1922)年 渡邊木版美術画舗蔵
6. 《上州法師温泉》 昭和8(1933)年 渡邊木版美術画舗蔵
7. 《暮れ行く古川堤》 大正8(1919)年 渡邊木版美術画舗蔵

■ プレゼント用招待券申込

（ご希望の場合はチェックをつけてください）

☐ 5 組 10 名様分 希望します。
（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先
ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒 260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8

Tel. 043-221-2311（代表） / 043-221-2313（直通）

Fax. 043-221-2316

HP. <http://www.ccma-net.jp/>

担当学芸員：西山 純子

広報担当：磯野 愛



《尾州半田新川端／東海道風景選集》昭和10年 渡邊木坂美術画廊蔵

生誕130年
川瀬巴水展
― 郷愁の日本風景 ―

記者レクチャー参加申込書

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。
展示作品をご覧いただき、作品の見どころなどを担当学芸員よりご説明します。

11月26日(火) 14:00より(1時間程度) 10階会議室にて

＊その後、8・7階展示室へご案内いたします

参加ご希望の方は下記にご記入の上、こちらの用紙を
FAX(043-221-2316) までご返信ください。

お名前

ご所属

お電話番号

E-mail address

問い合わせ先

広報担当 磯野 愛

Tel. 043-221-2313 (直通)

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8

HP. <http://www.ccma-net.jp/>